

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 膵頭十二指腸切除術後の膵液瘻と術後動脈血中乳酸値に関する後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科

【研究責任者】 坂本明優（肝胆膵・乳腺外科 医員）

【研究の目的】

膵頭十二指腸切除術（pancreaticoduodenectomy；以下PD）は消化器手術の中で最も侵襲が大きい手術の一つです。近年手術技術の向上により安全性が高まっていますが、手術関連死亡は他の外科手術と比較すると高率です。PD術後の短期予後を予測する周術期因子を明らかにすることは、今後のさらなる手術成績を改善するために重要であると考えられます。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2009年9月から2020年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち膵頭十二指腸切除術を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、手術日、手術方法、出血量、合併症、既往歴、血液検査データ、画像検査データ、病理結果等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個

人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科
坂本明優

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科 坂本明優
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel: 089-960-5327